

手すりにしっかり つかまらしましょう!!

ご利用時ご注意ください

1 手すりにしっかり つかまる 	2 ステップの黄色い線の 内側に乗る 	3 ながらスマホは危険 なので絶対 にしない 	4 ステップ上は 歩かない 走らない 
5 広い袖口や、ふわりとした ロングスカート など巻き込ま れやすいもの は避ける 	6 両手に荷物を持ちたり、杖やカート・シルバーカー・ベ ビーカーを使用される場合は、エレベーターのご利用を 	7 お子さまから 目を離さない 手すりから体を のりださない 	

「エスカレーターでヒヤリ!!」 こんな思いをしたことはありませんか?

ニュースなどでもエスカレーター事故がしばしば取り上げられています。ご利用の際には安全にご注意ください。



マイナ保険証の準備はお早めに

今年12月2日に現行の健康保険証が原則廃止され、マイナンバーカード(以下マイナカード)を健康保険証として使う「マイナ保険証」に切り替わります。

《マイナカードの保険証登録はお済みですか?》

すでにマイナカードをお持ちの方も健康保険証として利用するためには登録が必要です。

亀田クリニック1階総合受付に設置している顔認証付きカードリーダーで簡単に利用登録を行うことができます。まだ利用登録がお済みでない方は、マイナカードをご持参の上、手続きをお願いいたします。

現行の保険証は廃止後も経過措置として、有効期限が残っているものは最長1年間使うことができ、マイナンバーカードを持っていない方には、保険証の代わりに「資格確認書」が交付される予定です。詳しくは保険者にお問い合わせください。

bayfm「MEDICAL UPDATES」

FMラジオ局ベイエフエム『it!!(イット)』では、毎週火曜日の午後3時から、当院のスタッフが出演する「MEDICAL UPDATES」のコーナーが好評放送中です。

7月は亀田京橋クリニックの耳鼻咽喉・頭頸部外科でめまい外来を担当している奥野妙子医師が、めまいについてお話しいたします。ぜひお聞きください。

かめだAYAサポートチーム
かめだキッズ探検隊
参加者募集

がんって何?
どこで、どんな治療しているの?
Web画面から見学してみよう!

おとうさん、おかあさんががんになったお子さまを対象に、がんという病気やその治療について正しい知識を学び、少しでも不安や心配がなくなればとの思いを込めています。

日時:2024年8月17日(土)
14:00~15:30

対象 親ががんで、病名と治療をしていることの説明を受けているお子さま(幼稚園年長・小学生)

方法 各ご家庭のPCやタブレットからWebexを使用して参加いただきます

締切 7月10日(水)まで 参加費無料 /10名募集

申込み QRコードまたはURL(<https://x.gd/IUJXc>)
申込者には開催決定次第、必要書類を郵送します

問合せ 亀田総合病院・がん拠点病院推進センター
☎04-7099-1230(担当:吉田)
E-Mail: gankyoten@kameda.jp



変わる 片頭痛治療

脳神経内科
(亀田脳神経センター)
福武敏夫



第1話 片頭痛治療が新時代に入った！

片頭痛は「たかが頭痛、命に別状ない」と周囲からそのつらさを理解されず、医師にも過小評価されて診断や治療もまだまだ不十分な状態にあります。

私が大学病院に勤めはじめた40数年前には、片頭痛には普通の鎮痛薬(非ステロイド性抗炎症薬：NSAIDs)か、せいぜいエルゴタミン・カフェイン配合薬しかなく、片頭痛だと診断したら1～2度拝見してから、開業医の先生方をお願いして経過追跡しないことがほとんどでした。

片頭痛も初期の頃は普通の鎮痛薬でも奏効することがあるので、服用し過ぎでなければそれで問題はありません。エルゴタミン・カフェイン配合薬は効果が安定せず、吐き気(悪心)をきたすことが多く、乱用して副作用が問題になることもあり、妊娠・授乳中には禁止しなければならない点も問題でした。

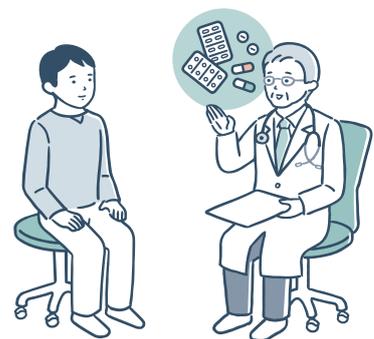
そうした中で、2000年から2008年にかけてトリプタン系とよばれる新しい頓服薬(症状がある時や必要な時にだけ使用するタイプの薬)が登場しました。神経伝達に関与するセロトニン受容体に働き、血管を収縮させたり、血管拡張に関わる物質の放出を抑制したりして、頭痛発作時に頭蓋底の血管が拡張しているのを元のサイズに戻して頭痛を収める薬です。

私は現在使用されている5種のうち2種の治験と呼ばれる事前の調査に参加しました。治験にあたり多くの片頭痛患者を診るなかで、詳しく問診したり、症状の経過を丁寧に訊いたりすることで、片頭痛の病態への興味が高まり、患者さんから多くのことを学びました。

そしていよいよ治験開始です。50人以上の患者さんに(検査費用や交通費などを会社が負担して)協力をお願いしても、発作回数の縛りや通院の都合などの点で協力いただけるのは10人に1人程度でした。協力いただいた患者さんはランダムに4群(薬用量がゼロ、少量、中等量、多量で見かけは同じ)に分けられ、2ヶ月間に中等度以上の頭痛に対して服薬してもらいました。以前に比べて丁寧に話を聴きよく説明をしたせいか、治験期間中に頭痛発作が生じなかった方がいたのにはびっくりしました。

ともかくも治験が終了し、経過用紙が格納された金庫が開けられてデータ解析が終わると、驚いたことに、2つの治験とも有効性はゼロ群で25%程度、中等量で65%程度でした。こんな差で発売するのかと思いましたが、痛みなどでは薬効成分を含まない偽薬(プラセボ)[ゼロ群]でも一定程度効くことは元々分かっており、65%というのも中等度に強くなってからの服用なので納得でした。発売後は頭痛の初期(あるいは予兆期)での服用を勧めた結果、5種とも85%以上の有効性を示しました。

こうして苦労(?)した治験から20年余が経ってもトリプタン系の頓服薬としての地位は揺るぎませんが、その存在を知らず片頭痛に苦しむ患者さんもまだいるのです。しかし、そのトリプタン系も頭痛が強くなってからは効き目が弱いことが多い上に、有効性が乏しい人や副作用で使いにくい人はどうするか、有効でも服薬回数が過度の場合にどうするかが課題になっています。そこへ2年前から皮下注射の予防薬や新規の頓服薬が登場してきました。そこで、本シリーズを通して片頭痛とその治療について理解していただきたいと思っています。



医師紹介

こみや あきら
小宮 顕 医師

- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言



- ①泌尿器科 部長(男性不妊担当)、医療安全管理室 副室長
- ②泌尿器科学、アンドロロジー、生殖医学、内分泌学
- ③映画鑑賞、旅行、おいしいものをたべること、ドライブ、最新ガジェット
- ④男性妊活について、お気軽にご相談ください。

※亀田IVFクリニックのブログで情報発信もしています➡



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <https://www.kameda.com>

